

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	百貨店（店長）	・現状の傾向に加え、新型コロナウイルスのワクチン接種が拡大していけば、感染防止に一定の効果が現れ、人流が更に拡大すると推察する。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が拡大しており、更に経済が落ち込むのではないかと心配している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス次第とみている。ワクチン効果で生活が正常に戻ることを期待したい。しかし、夜間の交通量の減少、リモートワークの定着化等、生活様式が大きく変わったので、新しいビジネス対応をしなければいけない。
	○	コンビニ（店長）	・今月は夏祭りがほぼ中止同然の催行だったので、来客数もかなり減少している。秋にはプレミアム付商品券の発行もあるようなので、少しは持ち直すのではないかと。
	○	一般レストラン（経営者）	・海水浴客の流入や、東京オリンピックによるテイクアウト需要が増えることを期待したい。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・今のところ8～9月は、学生やプロスポーツ団体の予約が多く、このまま実施されれば条件つきだが、やや良くなると見込まれる。
	○	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡ってくれば、秋の行楽シーズンに間に合う可能性がある。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の浸透により、需要が増える見込みである。
	○	通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの感染者数が爆発的に増加すれば話は別だが、過ごし方に慣れてきているので、緩やかに景気は良くなると考える。
	□	商店街（代表者）	・通常、年金支給月は売上に期待が持てるが、若い方々への新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗次第で、良くなるのではないかと。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋口には新型コロナウイルスのワクチンが行き渡って、人々が動くことができるようになってはいるが、まだまだではないかと。
	□	一般小売店〔青果〕（店長）	・当店で一番取引の大きい結婚式場、ホテル等の買上が増えない限り、今の状態が続いていく。とにかく、宴会、結婚式等は、ほとんどない。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により、外出への抵抗感の緩和や消費拡大が期待される。一方、足元では再び新規感染者数が拡大傾向にあり、先行きは依然不透明である。向こう2～3か月では、景況の回復には至らない。
	□	百貨店（営業担当）	・食料品はある程度の売上は見込めるが、主力の衣料品はこの先も不透明である。新型コロナウイルス禍で、来店客数も大幅に低下したままでは、好転することは難しい。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を完了した客の戻りは想定されるものの、衣料雑貨ゾーンの商材欠落が前年夏から続いており、食料品中心の購買傾向が継続すると予測している。
	□	スーパー（商品部担当）	・天候不順や値上げ等、ネガティブな要素が多い話ばかりだが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者の減少等で動きが出てきても、すぐには消費に直結しない。
	□	コンビニ（経営者）	・夏が終わり、来客数も減る。ただし、10～11月にイベント等が行われれば、減少分は回復すると思うので、変わらない。
	□	コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進んでいるものの、新型コロナウイルスの感染者数がまた増えてきているので、2～3か月先も今と余り変わらない。
	□	衣料品専門店（統括）	・現状の新型コロナウイルス感染防止策では感染に歯止めが利かない。また改めて緊急事態宣言が発出される。いつになったらこの状況から元に戻るのか心配であるが、頑張らなければならない。
	□	家電量販店（店長）	・今も大きく変わっていないので、良くも悪くもならなそうである。

□	乗用車販売店（経営者）	・東京オリンピックが始まり、医療の専門家は、新型コロナウイルスの感染者が激増すると言っている。新型コロナウイルス禍がいつまで続くか分からないことがつらい。相変わらずの半導体不足のなかで、当地域の自動車メーカーは標準的な生産量を守っている。米国工場では、生産がフル稼働状況で、有り難い。
□	乗用車販売店（販売担当）	・自動車販売に良くなる要素はない。悪くなるかもしれないが、分からない。
□	乗用車販売店（販売担当）	・当社の営業サービス地域では、高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種はほぼ終わってきているが、一般の接種が終わらないと活気は戻らない。今の状態だと接種が進むまで2～3か月掛かるようなので、落ち着かないと景気は上向きにならない。顧客であるホテル業が良くなると当社も良くなるので、今のところ良い材料はない。
□	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが不透明なことが、不安の原因で購買意欲がかなり低下している。マスコミのあおり方や報道の仕方などによって、かなり客が影響を受けている。また、政治も、将来的なワクチンの安全性、経済の向上を目指した施策が明確に打ち出されていないので、いずれにせよ余り期待できない感じが、ふだんの生活や客との会話からも読み取れる。
□	住関連専門店（店長）	・景気はある程度下げ止まっていて、これ以上は悪くならないと思うが、新型コロナウイルスのワクチン接種が予定より早く進めば、多少は良くなるのではないか。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・現状維持ぐらいの動きと予測している。幅広い世代で新型コロナウイルスのワクチン接種を始めれば変わるのかは、社会情勢次第である。
□	観光型ホテル（経営者）	・正直、想像できない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、感染拡大が止まらなければマイナス、止まればプラスではないだろうか。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊や宴会は東京オリンピック関連団体の受注で、まとまった売上を計上できている。ただし、本来あるはずの見込んでいた内容ではない上、一般の需要回復にはほど遠い状況である。県内の新型コロナウイルス感染者数も増加傾向にあり、見通しが立てられない。
□	タクシー（経営者）	・7月は新型コロナウイルスのワクチン接種会場までのタクシー無料券が配布されたため、売上は伸びたが、夜の動きは6～7月と悪かったため、この先も良くないとみている。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン次第のところはあるが、いまだ感染抑制に足りるだけの在庫が確保できていないため、現状が続く可能性が高い。
□	通信会社（総務担当）	・販売量は上向くものの、通信キャリアからのインセンティブが減少するため、総じて変わらない。
□	テーマパーク（職員）	・夏休み効果で回復を期待するが、首都圏の緊急事態宣言や新型コロナウイルスの感染者数の増加、東京オリンピックの開催等により、期待どおりの回復が見込めない。
□	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率次第と思われるが、今後の来場者動向は不透明である。
□	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んではいるものの、まだ予断は許さない状況である。鋼材価格の高騰やウッドショック等により、景気の低迷はしばらく続く。
□	設計事務所（所長）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、一時的に盛り上がった景気も落ち着くと思われる。
□	住宅販売会社（経営者）	・販売状況は悪いままと予想され、回復の要因が見当たらない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がかなり出てきて地方にも飛び火しているの、このまま行くとちょっとまずい状況になるのではないかと。
▲	家電量販店（店員）	・秋に向かって売上の指数は下降していくが、前年比を超えられるような商材が、なかなか見つからない。
▲	住関連専門店（仕入担当）	・ガソリン価格を含め、幅広い商材の値上げも顕在化してきており、新型コロナウイルスの感染拡大の不安要素と合わせて、今後、個人消費は厳しさを増すと予測している。
▲	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残が減少している。

	▲	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックで人が動き、メディアが新型コロナウイルスの感染者数急拡大をあおるため、やや悪くなる。
	▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・新型コロナウイルスの患者が現在でも増えており、東京オリンピック以降は明らかに増えると思うので、やや悪くなる。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・飲食部門は、東京オリンピック・パラリンピック期間中の巣籠り助長や開催終了後の新型コロナウイルスの感染リバウンドも懸念され、来客が戻るとは想定しにくい。一方、事業所給食は、食材費の値上がりに加えて、最低賃金上昇に伴うパート社員の賃金上昇が、コスト面だけではなく、採用人数の増加を迫ることになり、今後の運営上の重しになると懸念される。
	▲	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波への危機感が高まっており、外出自粛の流れになりそうで、やや悪くなる。
	▲	通信会社（経営者）	・仕入コストが高騰しているが、今の情勢を考えるとなかなか売価に転嫁できない。今後もしばらくはこの傾向が続くと思われる。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない。
	▲	美容室（経営者）	・高齢者の新型コロナウイルスへの感染は既に鎮静化してきている。ただ問題なのは、40～50代の年齢層に新規感染者が激増していることである。場当たりの接種システムの弊害である。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・お盆を挟んで動きのない月が続くことや新型コロナウイルスの感染拡大が続くため、悪くなる。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・7月中旬の東京の新型コロナウイルスの新規感染者数増加が止まらない間も、周辺のホテルからは7月後半から8月にかけての宿泊予約のキャンセルが相次いでいるという話は聞こえてこなかった。月末になり、首都圏1都3県への緊急事態宣言が延長、再発出されることとなったが、今後、感染者が増え続けても、旅行計画を立ててしまった人はそのまま実施するのではないかと。ただし、9月以降の観光業は、一層深刻な状況になってしまうのではないかと、周りの事業主たちも危惧している。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの状態が非常に悪く、客が全然来なくなってしまっていることが原因である。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・当県も残念ながら8月早々に、飲食店の時短営業要請が出される予定であり、この先、客の出足が良くなる要素は全く見当たらない。総合的に判断しても、新型コロナウイルスのワクチン接種が若い人まで終わらない限りは、このまま悪い一方で進むような気がしている。
	×	家電量販店（営業担当）	・8月のお盆商戦に販促はできているので、来客数を増やし、単価上昇となるよう、プラスワン商材の提案を実施していく。
	×	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・靴業界のメーカーは海外依存が多く、前年と同じ物しか生産できないとか、新型コロナウイルスの影響で生産されない。製品を運ぶコンテナ船の確保がなく、日本に商材が入荷できない状況が続いている。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が高くなっても、自粛要請が解除されない限り、好景気にはならない。
	×	旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスの感染者数減少がいつ頃になるのか、全く見当がつかない上に、ワクチン接種のスピードも鈍化してきている。全く出口が見えず、相当厳しい状況が想定される。
	×	タクシー運転手	・首都圏から人が来なければ、地方のタクシードライバーの生活はなかなか厳しい。
	×	タクシー（役員）	・国の新型コロナウイルス対策が全く駄目過ぎて、あきれている。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	一般機械器具製造業（経営者）	・秋に、新規で立ち上がる自動車関連部門では、当初計画を大幅に上回る数量の要求があり、新規設備導入やフル稼働で対応予定である。また、ロボット関連も好調で、新設ラインで対応するよう要求が来ている。
	○	化学工業（経営者）	・継続中の引き合いを確実に受注することを目指している。やや良くなると考えている。

	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月は受注量、取引先の様子が若干上向いている。この調子でいけば、2～3か月先は良くなる。
	○	金融業（営業担当）	・現在、新型コロナウイルスのワクチン接種が大分進んできており、2～3か月後については、さらに進んでいる。心理的な効果もあり、景気についてはやや良くなってくると考えている。
	□	食料品製造業（経営者）	・ワクチン接種が進んでいるなかで、新型コロナウイルス感染者数が減少すれば回復すると思うが、不振な業種ではダメージが大きいのではないか。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・大きな変動もなく、現状維持できている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・得意先との話からも、変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が大分ひどくなってきているので、今は受注が増えつつあるが、また、がくんと落ちる可能性があり、先が見えない。当社売上は過去最低を更新しているので、非常に厳しい。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだ残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・夏休みに入り、特に、レジャー、バーベキュー、園芸用品等の物量が増える予定である。また、猛暑により飲料水の輸送量も前年を上回る予測だが、燃料価格高騰もあり、利益は薄くなりそうである。
	□	広告代理店（営業担当）	・良くなる兆しが全く見えない。
	□	経営コンサルタント	・東京オリンピックも終わり、秋のレジャー、行楽シーズンに新型コロナウイルスの重症患者数に落ち着きが見られれば、企業活動や個人の消費活動も後押しされて、地域経済活動も息を吹き返すと期待している。
	□	司法書士	・ほとんど変わらない。特別大きな仕事はない。やや過疎の街なので、大きな仕事がなくなって、低位安定なのかなという状況である。
	□	社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるだろうが、世の中の空気が変わって、財布のひもが緩むかどうかは分からない。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注件数いずれの状況を見ても、特段変化はみられない。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者がこのまま増え続けると、人の流れが変わるような気がする。人が出歩かなくなるので、やはり難しくなるのではないかと。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・将来の景気は全く分からない。6月は少し良くなったかと思ったが、7月はまたがくんと落ちて、本当に困っている。
	▲	建設業（総務担当）	・公共工事はともかく、民間の動きが非常に悪くなってきている。
	×	建設業（開発担当）	・新年度がスタートして3か月、今期の公共工事発注は大幅減となっており、今後の発注に期待している。ただし、新型コロナウイルス禍で、一層厳しい。多くの業種でボーナス支給ができない状況だが、当社も同様で、従業員に申し訳ない経営状況である。この先も厳しい状況は続き、今期決算は赤字になる可能性があり、先行きが心配である。
	×	不動産業（管理担当）	・来月下旬に管理ビルのテナント撤退が決まった。賃貸面積が大きかったため、家賃収入の大幅減が見込まれる。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の生産計画が高いため、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（経営者）	・東京オリンピック効果で、家電は安定した伸びで、横ばいといった方が良いのかもしれないが、良い。生鮮食料品は、家飲み等もあり、食材関係の調達が活発さを見せていくだろうが、天候が心配である。全般的には横ばいではないかと。
	□	人材派遣会社（社員）	・業種によって人材需要に温度差があるものの、特に、製造業を中心に需要があり、継続する見込みである。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人、有効求人共に増加しているが、新型コロナウイルスの感染拡大第5波といわれる感染者数増加が、今後どのように影響してくるか分からない。

□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大もあり、飲食、宿泊、関連する卸売業の回復が見込めない。
□	学校〔専門学校〕（副校長）	・経済が動き出した半面、新型コロナウイルスの感染が拡大し、感染への懸念から経済はまだ大きくは上昇しないと考えられる。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの収束見通しがなかなかなく、まん延防止等重点措置で抑えられていることで、前回の第4波の感染者数のピークと今回の感染拡大までの期間が短いことも考えると、ワクチン接種は進んでいるが、この先に効果があるかどうか見えない。やや不安なところがある。
×	*	*